



おしらせ

伊藤忠記念財団 子ども文庫助成の応募要項配布

伊藤忠記念財団の、2019年度子ども文庫助成の募集要項が発表されました。主な内容は次のとおりです。

子ども文庫助成事業 4つのプログラムと募集対象

①子どもの本購入費助成(助成金 30万円)

子ども文庫、読み聞かせ団体、子ども文庫連絡会等で、3年以上の活動歴があるボランティア団体等または個人。

②病院・施設子ども読書活動費助成(助成金 30万円)

病院内で療養中の子どもたち、障害児施設、養護施設等の子どもたちに対し、読書啓発活動を行う、3年以上の活動歴があるボランティア団体等または個人。

③子どもの本 100冊助成(当財団が選んだ児童図書セット)

子ども文庫、読み聞かせ団体、子ども文庫連絡会等で、読書啓発活動を行っている、ボランティア団体等または個人。活動期間の長さは問いません。

④子ども文庫功労賞(賞金、記念品)

子ども文庫を長年に亘り(20年以上)運営されてきた個人で、子どもの読書活動に貢献されてきた方。
(他薦に限ります)



応募締め切り 6月21日(金) 当日消印有効



詳しい内容や応募方法については、伊藤忠記念財団のホームページ(<https://www.itc-zaidan.or.jp/>)をご覧ください。

司書が勝手に紹介！

絵本作家 100人！ (第4回目)

荒井 良二(あらい りょうじ) 1956ー

1956年8月16日山形県山形市生まれ。日本大学芸術学部美術学科卒業。1990年に処女作『MELODY』を発表後、数々の絵本、挿絵を手がける。1991年に『ユックリとジョジョニ』でエズラ・ジャック・キーツ賞ノミネート。以来、100冊以上の絵本を刊行し、2005年にはアストリッド・リンダグレン記念文学賞を日本人として初めて受賞。その他、国内外の賞を多数受賞。現在も絵本にとどまらず、イラストレーション、小説の装画、挿絵、広告、舞台美術、アニメーションなど幅広く活躍している。

== 主な作品 ==

『ユックリとジョジョニ』(荒井良二/作 ほるぷ出版 1991)

『うそつきのつき』(内田麟太郎/作 荒井良二/絵 文溪堂 1996)

『なぞなぞのたび』(石津ちひろ/文 荒井良二/絵 フレーベル館 1998)

新刊案内

『キュリオシティ ぼくは、火星にいる』マーカス・モートン／作 松田素子／訳 渡部潤一／日本語版監修 538.9/㊦ BL 出版

「きみは、いま、どこにいるの？きみがどこにいるとしても、ぼくはきみがいるところから、遠く遠く離れている。ぼくはいま、火星にいるんだ——。」実在する火星探査車、キュリオシティの目線で語られる科学絵本。キュリオシティが製造された理由や火星到着までの経緯、計画に携わる人々の努力など、火星探査についての秘密が明かされる。巻末には NASA の火星探査の歴史が紹介されている。

『こども「折々のうた」100 10歳から読みたい日本詩歌の決定版！』大岡信／著 長谷川權／監修 911/㊦ 小学館

『折々のうた』は詩人、大岡信氏が 1979 年から 2007 年に朝日新聞一面に書きつづけた詩歌のコラム。本書は『折々のうた』から日本の短歌と俳句だけ 50 ずつ選び、古代から現代へ時代の流れに沿って並び替えている。美しい世界をうたった短歌・俳句のほか、恋の歌、老人の歌や人生の淋しさの句、死や戦争の句や歌も収録。全文ふりがなあり、現代語訳・ことばの解説付き。巻末には 50 音順の簡易作者紹介あり。

『さらわれたオレオマーガリン王子』マーク・トウェイン、フィリップ・ステッド／作 エリン・ステッド／画 ひこ・田中、横川寿美子／訳 933/㊦ 福音館書店

トウェインの死後見つかったノートには、生前彼が娘たちに語った未完の物語が書き留められていた。これを、現代の二人の作家が自分自身の創作と混ぜ合わせ、誕生したのが本書である。物語は、トウェインと文作者フィリップの対話を交えながら進んでいく。主人公ジョニーが暮らすのは「行くのも言うのも困難国」という、不運で腹ぺこな人々が住む場所。不思議な花を食べ、動物の言葉を会得したジョニーは、行方不明の王子を探すため、動物たちと旅に出かける。

▼△▼△▼△▼△▼ 4月の行事 ▼△▼△▼△▼

ぴった～あかちゃんのおはなしかい～ (毎週土曜日) 4月6日、13日、20日、27日 10:00～10:20 2階こどもコーナー おはなしのへや	おはなしのじかん (毎週土曜日) 4月6日、13日、20日、27日 10:30～11:00 2階こどもコーナー おはなしのへや
ストーリーテリング勉強会(毎月第2水曜日) 4月10日 9:30～11:30 4階 集会室	子どもの本の読書会(毎月第2木曜日) 4月11日 10:00～11:30 4月の課題図書:『アカネヒメ物語』 (村山早紀／著、徳間書店) 4階 集会室
ちいさいひとたちのための絵本とおはなしにであう会 4月3日 10:30～11:00(毎月第1水曜日) 2階こどもコーナー おはなしのへや	

上記の行事は、いずれもオーテピアで行います。【申込み・参加費は不要】



伝言板



伝言板では、子どもと読書に関する催し物などを掲載します。次号のSariSari通信伝言板への掲載をご希望される場合は、オーテピア高知図書館児童サービス担当まで前月 15 日までにお知らせください。

TEL 088-823-4946(代表) 088-802-6023(こどもコーナー) FAX 088-823-9352